

28

「見守る」と「見守られる」をつなぎます

～介護者記録用アプリ「みまもメイト」の記録共有による効果～

どんな研究

うつ病の早期改善には、良好な家庭環境が重要です。そのためには、家族介護者がうつ病患者の言動に上手く対処できる必要があります。本研究では、**家族介護者が介護記録を付けて介護者同士で情報共有することができるアプリ**を開発し、その有効性を確認しました。

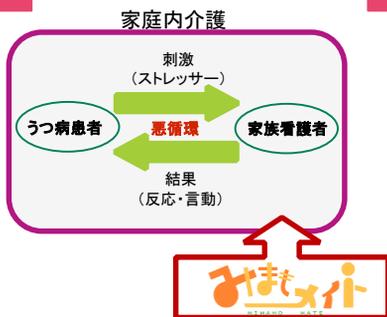
どこが凄い

情報分野におけるヘルスケアに関する研究の大半は患者の治療や介護を効果的に行う方法に焦点を当て、家庭内環境の改善を目指したものは殆ど存在しません。本研究は、家族介護者に働きかけることによって**家庭内環境の改善を実現**しました。

めざす未来

単にハンディキャップを持つ人をサポートするだけではなく、ハンディキャップを持つ人が抱える問題をマジョリティと相互に理解し合い、マジョリティからも思いやりを引き出せるようなICTを開発することによって、**多様性を許容して活用する社会の実現**を目指します。

目的



家庭内介護を改善することにより、患者の早期回復を支援するICTツールを開発すること

開発



第1フェーズ

介護記録機能を実装
各家庭で家族介護者が記録を取る
・患者の状況(気分・症状)
・介護活動

第2フェーズ

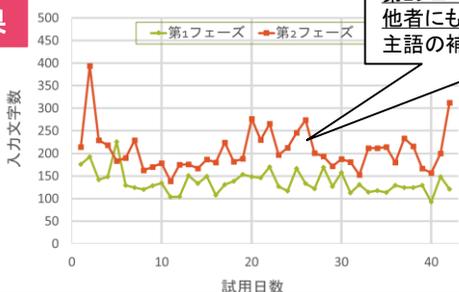
・異なる家庭間の情報共有機能を追加
・他の家族介護者の記録が閲覧可能になる

検証

目的: 第2フェーズの情報共有機能の影響を検証
期待されたこと:
- 他者の記録から**学び**を得る
- 類似他者から**精神的な支え**を得る
懸念されたこと:
- 他の家族介護者への**ねたみ**
- 患者と家族介護者の**衝突**

参加者(家族介護者):
- 家族のうつ病患者を介護している成人14名
- 女性11名、男性3名、平均年齢43歳
- 専業主婦6名、フルタイム雇用6名、自営業2名
患者の病状:
- 発症時期は平均8年前、8名が再発を経験
- 全員が抗鬱剤を服用、定期的に受診

結果



第2フェーズの効果:
他者にも理解しやすい文章の増加
主語の補足や背景・状況の説明

期待されたこと: 他者からの学び、精神的な支えとなった。
懸念されたこと: ねたみは一部報告されたが、衝突は報告されなかった。

患者-介護者間のコミュニケーションが増加

- 他者の記録を材料とした患者への話し掛け
- 患者から他の家族への間接的な情報発信
- 介護者から患者への間接的な情報発信
→ **間接的なコミュニケーション**を支援することの重要性が明らかになった。

関連文献

- [1] N. Yamashita, H. Kuzuoka, T. Kudo, K. Hirata, E. Aramaki, K. Hattori, "How Information Sharing about Care Recipients by Family Caregivers Impacts Family Communication," in *Proc. ACM Conference on Human Factors in Computing Systems (CHI)*, 2018.
[2] 山下直美, 葛岡英明, 平田圭二, 荒牧英治, 工藤喬, 服部一樹, "家族介護者同士の情報共有が家庭内コミュニケーションに及ぼす影響," *インタラクシオン*, 2018.

連絡先

山下直美 (Naomi Yamashita) 協創情報研究所 インタラクシオン対話研究グループ
Email: cs-liaison-ml at hco.ntt.co.jp



Innovative R&D by NTT
オープンハウス 2019